様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 ダイコン（冬どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

1．土づくり

・完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

2．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 **化学肥料窒素成分使用量4．5kg／10a以下**

基肥は①～④のいずれかを選択する。

	肥料名	施肥量
基肥	①エコレット866（8-6-6　有機態窒素　4．1）	110kg／10a以下
	②マイルドユーキ030（10-13-10　有機態窒素5.3）	90kg／10a以下
	③有機アグレット088（10-8-8　有機態窒素5）	90kg／10a以下
	④ちばみどり有機888(8-8-8　有機態窒素　1.2)	60kg／10a以下
	苦土重焼燐（0-35-0）	40kg／10a
	硫マグ	40kg／10a

3．防除 **化学合成農薬　5成分回数まで**

（カスミンボルドー・Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない）

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈　倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
8月上旬		（ネキリムシ）（白さび病）（ハイマダラノメイガ・キスジノハイムシ）（ヨトウムシ）（軟腐病）					
中旬			①ネマトリンエース粒剤	15～25kg/10a（播種前）	1回	ﾈｸﾞｻﾚﾝﾁｭｳ	
下旬			②カルホス微粒剤F	6kg/10a 播種時～生育初期（但し、収穫30日前）	1回	ネキリムシ類	
9月上旬	は種		③フォース粒剤	6～9kg／10a（播種時）	1回	キスジノミハムシ	アブラムシ等の防除のため圃場周辺の除草をする
中旬			④モスピラン顆粒水溶剤	2000倍（収穫14日前）	1回	コナガ	
				2000～4000倍（収穫14日前）		アブラムシ類	
下旬	間引き		Zボルドー	500倍	―	黒斑細菌病 白さび病	台風等の強風雨がある場合は軟腐病防除の為、カスミンボルドー1000倍（収穫14日前・3回）又は⑧スターナ水和剤1000倍（収穫14日前・5回）を散布する又はグレーシア乳剤2000～3000倍（収穫7日前まで2回以内）
			エスマルクDF	1000倍発生初期（但し、収穫前日まで）	―	コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ	
10月上旬			⑤アファーム乳剤	1000～2000倍（収穫7日前）	3回	ｺﾅｶﾞ ｱｵﾑｼ	
			⑥ハチハチ乳剤	2000倍（収穫30日前）	1回	キスジノミハムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	
中旬			⑦フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍（収穫7日前）	2回	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ ｺﾅｶﾞ	
下旬			スピノエース顆粒水和剤	2500～5000倍（収穫7日前）	3回	ｺﾅｶﾞ ｱｵﾑｼ	
11月	収穫						
12月							

☆みんなで守ろう生産基準